

10月30日 ソフィア発見講座【報告】

音楽・音づくりへの真摯な姿勢に感銘！



八代氏は、お父様やお世話になった恩師の言葉を常に大切に生きてこられました。

- 芸は身を助ける
- 音楽をやる人に悪い人はいない
- 音楽は時間の芸術だ
- ハーモニーは友情だ

音楽との出会い

- ・福島県出身、父親は民謡の先生。幼い頃から民謡を聞いて育った。
- ・小1、オルガンの上手な先生を囲み、いつも楽しく歌っていた。
- ・小3、転校生が弾いた「エリーゼのために」に驚きと感動を覚えた。
- ・リコーダーが得意で、テスト前には友達に教えたほどだった。
- ・中学校吹奏楽部では花形のユーフォニアムに熱中し、自信をつけた。

クラリネットとの出会い

- ・高校で強敵が現れ、クラリネットに転向。1番でなくてもよいことを学んだ。
- ・楽器が作れて演奏もできる日本楽器に入社。難関の吹奏楽団に一発合格。
- ・ピアノ製造からスタートし、その後クラリネット製造に移向。クラリネット第1作は3か月かかって完成した。音が出た時は涙が出た。
- ・上級品の製造部門に移り、世界的プレイヤーの要望を実現していった。

音楽文化がもっと広がって世界平和につながってほしい。

演奏曲は、夏の思い出、花（ボサノバ風）、メモリー・オブ・ユーなど。

一日の疲れを忘れさせてくれるクラリネットの響きにみな酔いしれました。

八代氏への講演または演奏会のご依頼がある方は、磐周教育研究所(廣田)までご連絡いただければ、お取り次ぎします。学校だけでなく、地域イベントなどでも大歓迎とのことです。